

J-クレジット制度管理者御中

## 実績確認概要書

平成 29 年 2 月 22 日

審査機関名 一般財団法人日本品質保証機構

### 1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	菓子工場における重油ボイラーから高効率 LPG ボイラーへの更新
承認番号	JCDM-KC1202
排出削減事業者名	渡辺菓子種工業有限会社
排出削減共同実施事業者名	環境経済株式会社
事業実施場所	渡辺菓子種工業有限会社 羽生工場 (埼玉県羽生市大字上村君字新田 860-1)
事業の概要	工場のボイラー設備を高効率の機種に更新するとともに、重油から LPG への燃料転換により、二酸化炭素排出量を削減する。重油ボイラーを高効率の LPG ボイラーに更新する。これにより、エネルギーの使用の合理化を進めるとともに、二酸化炭素の排出原単位が小さい燃料へ転換することで、二酸化炭素排出量の削減を図る。
排出削減量の計画	2011 年度：89 tCO <sub>2</sub> /年 2012 年度：153 t CO <sub>2</sub> /年 2013-2018 年度：142 tCO <sub>2</sub> /年 2019 年度：70 tCO <sub>2</sub> /年 (事業実施期間合計 1,164 tCO <sub>2</sub> )
クレジット認証期間	開始日 2011 年 9 月 30 日 終了予定日 2019 年 9 月 29 日 ※J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は 2019 年 9 月 29 日となっている。
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新

## 2. 本実績確認の対象期間

2013年4月1日～2016年12月31日（第2回目実績報告）

## 3. 実績確認結果

本実績確認期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	583 tCO <sub>2</sub> （2013年4月1日～2016年12月31日）
-------	--

## 4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	審査手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること。	1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 初回実績確認ではないため、確認の手続きは実施していない。 2) 対象期間中の設備稼働の確認 LPGの購入伝票、事業者へのヒアリング及び現地目視により、導入設備は実績報告期間において継続的に稼働していたことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	1) モニタリング方法の確認 LPGの購入伝票、排出削減事業関係者へのヒアリング及び現地目視により、モニタリング方法が方法論及び当該削減計画に沿って実施されていたことを確認した。 2) 活動量の正確性 LPGの購入伝票、排出削減事業関係者へのヒアリング及び現地目視により、エネルギー使用量の記録・保存は適切になされており、活動量が正確に集計されていることを確認した。 3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 LPGの購入伝票、事業者へのヒアリング並びにJ-クレジット制度のモニタリング・算定規程（排出削減プロジェクト用）Ver.2.6により、排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等は方法論及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。

	4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 排出削減量の算定結果を LPG の購買伝票との突合、計算過程の確認、再計算等実施した結果、排出削減量の算定結果に大きな誤りはないことを確認した。
算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこと	今回の実績確認対象期間は 2013 年 4 月 1 日から 2016 年 12 月 31 日までとなっているが、J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は 2019 年 9 月 29 日となっているため、当該算定結果は適切であることを確認した。

## 5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

本実績確認期間の実績確認の結果、承認排出削減事業計画からの重要な変更点がないことを確認した。

## 6. 特記事項

本実績確認期間における省エネルギー量として、原油換算 46.9 kL、熱量換算 1,820.6GJ であることを確認した。

以 上